

シラバス 自動車整備 科 一級自動車整備士 コース

講 義 名	＜実習＞ 四年次 実務①実習 故障原因探究Ⅰ				
概要と目的	職場レベルの技術を身に付ける 現場レベルの作業の実施				
担 当 者	廣間 和彦	単位数	75 時限	区分	実習
実務経験	カーディーラー等の整備工場において自動車整備の実務を経験した教員が故障原因探究Ⅰについて教育を行う科目。				
講義対象	四年生	時 期	4月～6月上旬		
使用教材	車両、ベンチ・エンジン、外部診断機、サーキットテスタ、サウンドスコープほか テキスト「エンジン電制」、問題集、プリント				
到達目標	エンジン電子制御装置 故障原因探究〔高度故障診断技術〕の習得				
成績評価	期末試験・出欠点・平常点 A評価:170～200点、B評価:140～169点、 C評価:120～139点を基準とする。				
授業計画					
1～12	診断の基本、診断の進め方、再現手法 P257～261				
13～24	ECU端子電圧の観測				
25～36	外部診断機によるECUデータ観測(冷間、温間)				
37～42	運転制御モード P230～255				
43～51	警告灯点灯時の故障診断 センサ P262～274				
52～60	警告灯点灯時の故障診断 アクチュエータ P274～276				
61～63	警告灯無点灯時の診断 テスタ、外部診断機の活用 P276～279				
64～66	O ₂ センサ信号と空燃比制御データを活用した故障診断				
伝達事項等					
校長	所 属		授業資格		実務経験
	学科長	担当者	学科実習 あり		あり

シラバス 自動車整備 科 一級自動車整備士 コース

講 義 名	＜実習＞ 四年次 実務①実習 故障原因探究Ⅰ				
概要と目的					
担 当 者		単位数		区分	
講義対象		時 期			
使用教材					
到達目標					
成績評価					
授業計画					
67～69	CAN通信回路の故障診断				
70～72	問題演習と解説				
73～75	実技試験				
伝達事項等					
校長	所 属				
	学科長	担当者			